

メダルが詰まりやすい場合の確認方法と・預入・払出計数機の調整方法

作業前には安全の為、バンクをシャットダウンしてください。
上部又は下部扉を開き、該当計数機のテーブルを前へ引き出します。

1. 異物などの確認のお願い

メダルが詰まりやすい場合には、計数機のターンテーブル上、又はメダルの通路に、異物がある場合に発生する事があります。

まず該当の計数機のメダルを取り除いて、ターンテーブル上、又はメダルの通路に、に異物が無いか確認をお願いします。

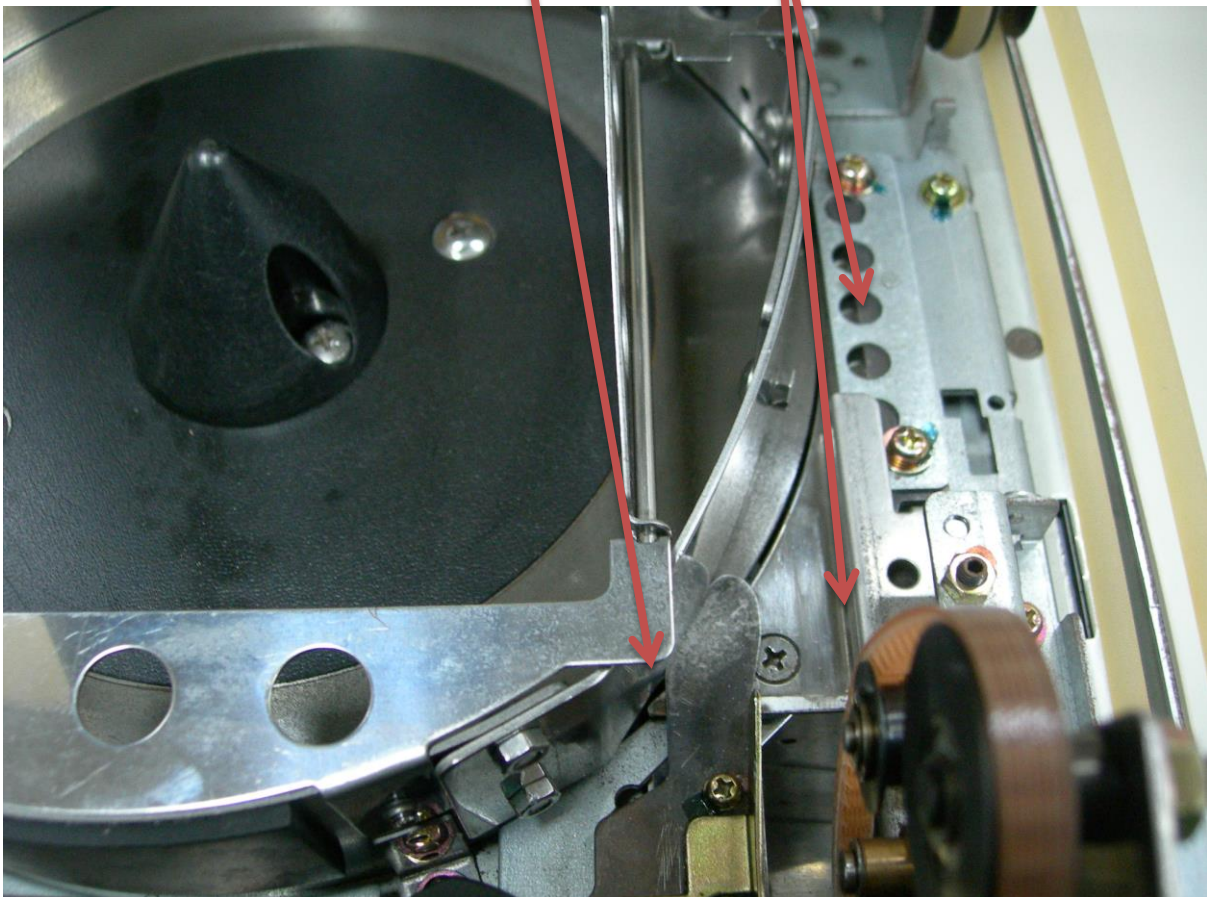
異物で多い物は、おしぼりの包装紙等のゴミ、ビス等の部品、他店メダル等が挙げられます。

包み紙などのゴミは、メダルが通過する隙間に、確認しづらい状態で挟まっている場合がありますのでよく観察する様お願い致します。

同じメダルサイズでも他店メダル等は外形、厚みが違う為に、詰まる可能性が高いです。

ゴミなどの詰まりやすい箇所

メダル案内部の隙間1
メダル案内部の隙間2



メダルが詰まりやすい場合の確認方法と・預入・払出計数機の調整方法

2. 幅調整のずれによる、メダル詰まり

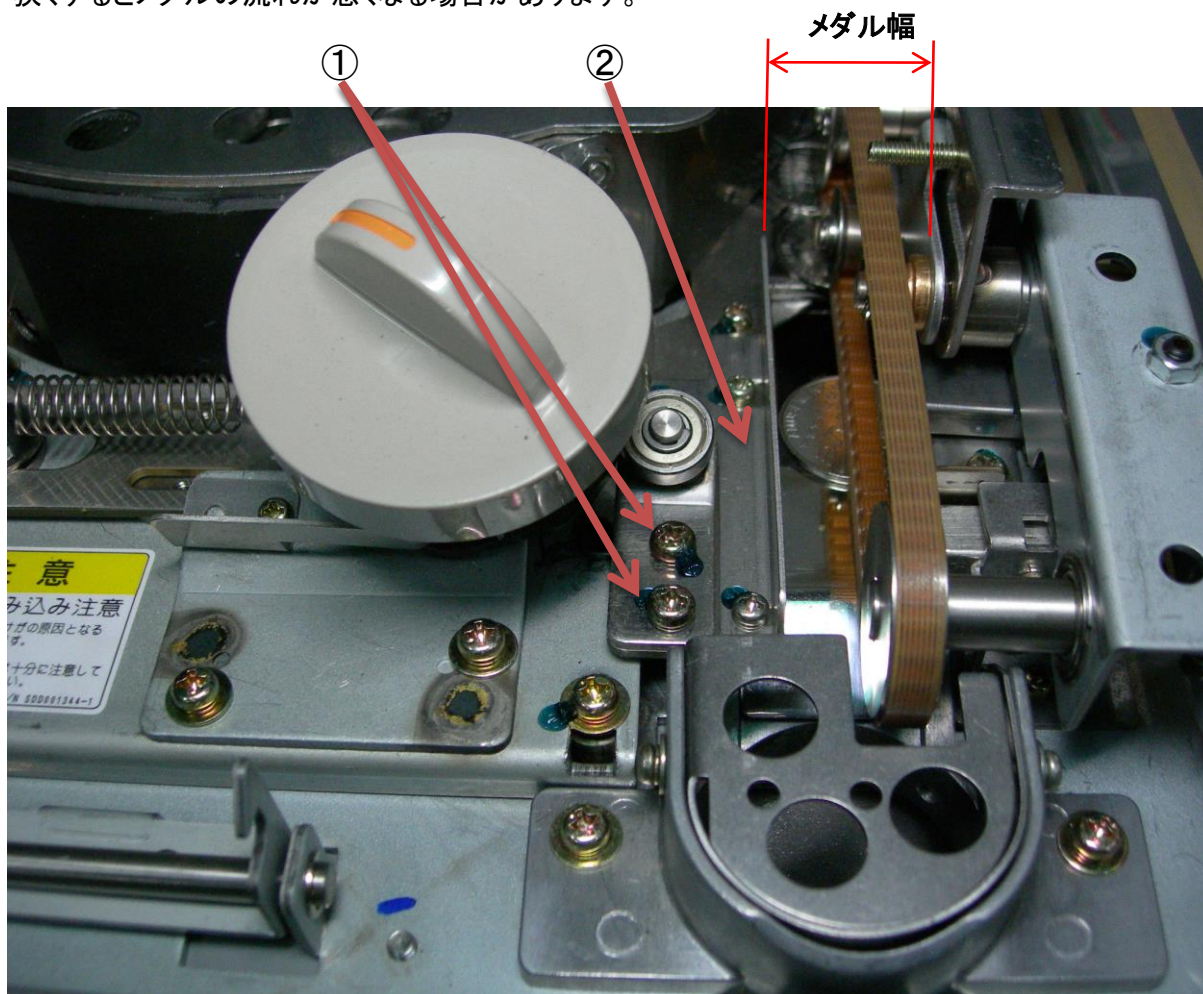
出荷時には、ご使用になられる店舗様のメダルをお借りして、メダル計数が正常に行われるかチェックしております。しかし何らかの原因で調整がずれる場合も考えられます。

(応急簡易調整です・出荷時の調整は別箇所、平行度も含め治具にて調整しております)
こちらの作業はNo2プラスドライバーが必要です。

メダルサイズによる詰まりの場合以下の調整で改善されます。
メダルサイズ調整ダイヤル下の、カムでメダル幅を決定しています。
この2本のビス①を緩める事で、メダルサイズを若干ですが調整する事が可能です。

ビスを緩めた後、②の部品を左右へ押し、レールを移動させ幅を調整します。

調整が終わりましたら、①のビスを緩まない様にしっかりと締めてください。
メダルを数枚通して、リジェクトBOXへ落ちないか確認してください。
狭くするとメダルの流れが悪くなる場合があります。



メダルが詰まりやすい場合の確認方法と・預入・払出計数機の調整方法

3. 厚み調整のずれによる、メダル詰まり

出荷時には、ご使用になられる店舗様のメダルをお借りして、最適な状態に調整後出荷しております。しかし何らかの原因で調整がずれる場合も考えられます。

こちらの作業は7mmスパナとNo2プラスドライバーが必要です。

(CP-10の場合) PF-1の場合はドライバーのみ。

メダル厚みによる詰まりの場合以下の調整で改善されます。

メダルゲートと呼ばれる部品の高さ調整を行います。

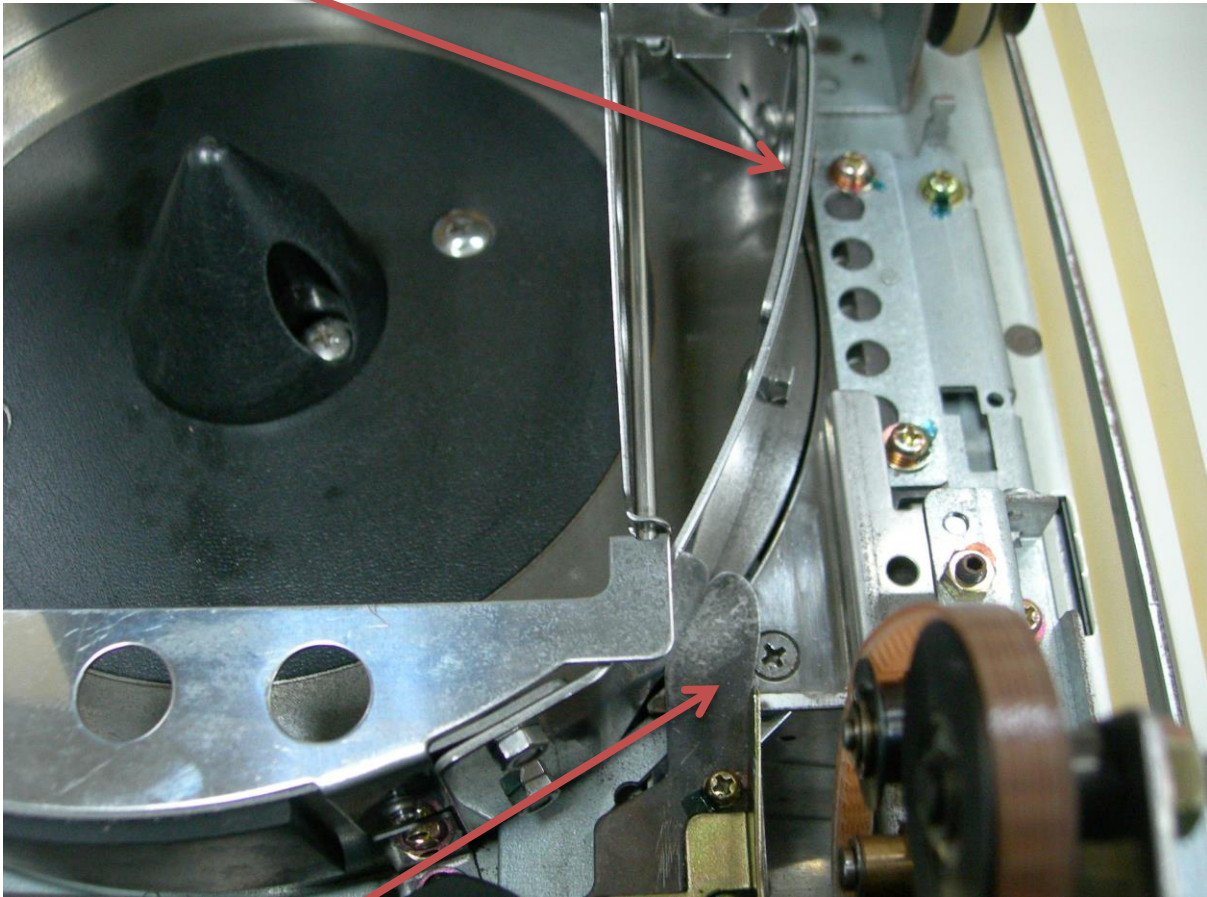
このゲートは、メダルを1枚ずつ計数する為に、調整高さは後方2.2mm～前方2.4mmです、厚いメダルは通過出来なくし、流れを良くする為に設けられています。

2.4mmのクリアランスは、メダルが2枚重なりメダル詰まりを起こさない様前方へ抜ける為にテーパが設けられています、逆に小さすぎると、メダルの厚みのばらつきで、通過できないメダルが出てきます。

メダルのばらつきは、長い期間ご使用になられたメダルは摩耗で厚みが薄くなり、新しいメダルとの差が厚みのばらつきとなって現れます。

また、長い期間ご使用になられ変形している場合も御座います。

メダルゲートはここに装着されています。(2mm程度のステンレス製板です)

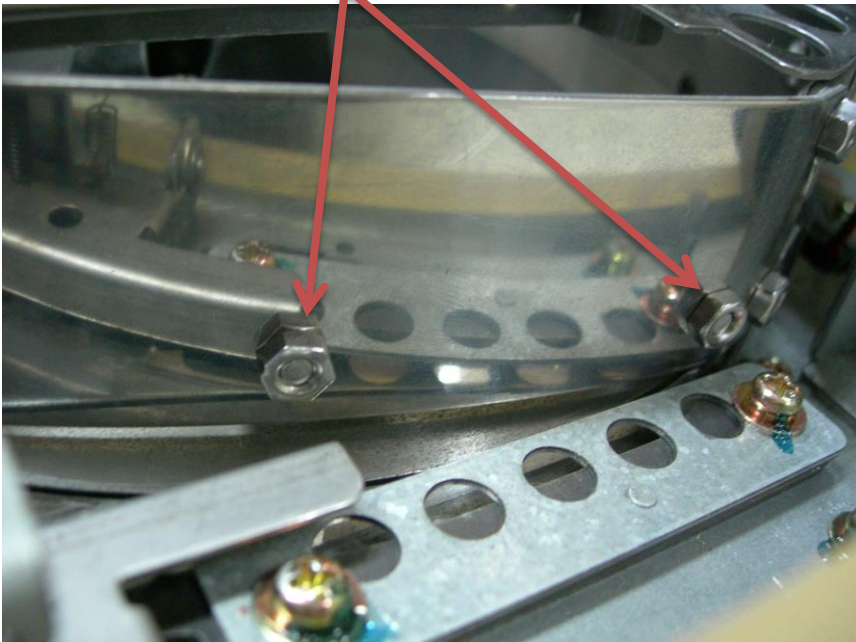


スライドガイドプレート

メダルが詰まりやすい場合の確認方法と・預入・払出計数機の調整方法

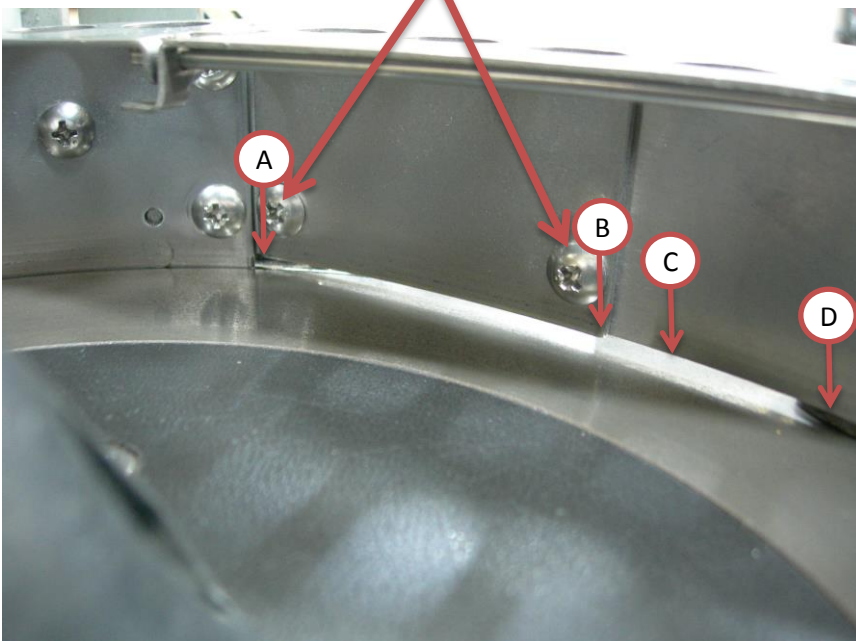
メダルゲートの固定ビスは、ロックナットで固定されてる場合があります。
この場合は、まずスパナで裏面のナットを少し緩めます

ロックナット 2か所 CP-10のみ、付いている場合があります。



続いて裏面のビスを緩めると、ゲートがフリーになります、アールが付いていますので多少動きが硬い場合があります。

ビス 2か所



テーブル面よりの高さ
(出荷時調整値)

A(ゲート)	2.2	mm
B(ゲート)	2.4	mm
C(取付板)	2.3	mm

スライドガイドプレートとの隙間

D(取付板)	0.4	mm
--------	-----	----

金種セレクトつまみで可動する部品です。

メダルがゲート部で重なり詰まる事が多い場合は、前方**B** でゲートを上げる事で改善されます。
(標準設定値は2.4mmです)

メダルがゲート部を通過出来ずに、流れが悪い場合は、後方**A** でゲートを上げる事で改善されます
(標準設定値は2.2mmです)

調整が終わりましたら、ビスを緩まない様に締めます、続いてロックナットをスパナで締めますが、ビスが共回りする事がありますので、ドライバーでビスを固定しながら、ロックナットを締めてください。

この締めが弱いと、計数機の振動等で(メダルの回転でかなりの力が加わります)ゲートが動いてしまい調整がずれてしまう事があります。

(CP-10の場合長期の使用でネジの締め具合が弱くなっている場合があります)

C の調整は、大きくずれてしまった場合に行います。